財務(定期)監査及び行政監査結果報告

(平成 22 年度前期)

平成 22 年 6 月

尼崎市監査委員

報告監第9号
平成22年6月23日

様

尼崎市監査委員	須賀邦郎
同	堀智子
同	宮城亜輻
同	早川進

財務(定期)監査及び行政監査結果報告

地方自治法第199条第1項及び第4項並びに同条第2項の規定により財務(定期)監査及び行政監査を行ったので、同条第9項の規定によりその結果の報告を提出します。

目 次

議 会 事 務 局	1
総 務 局	2
環 境 市 民 局	3
産 業 経 済 局	4
消 防 局	5

議 会 事 務 局

1 監査の期間

平成22年4月1日から平成22年6月3日まで

2 監査の対象

今回の監査は、総務課、議事課、政策調査担当の所管する平成21年度に執行した事務事業を対象に実施した。

3 監査の結果

今回の財務(定期)監査は、収入事務、支出事務、契約事務、財産管理等事務等財務に関する事務の執行が関係法令に準拠し、的確に行われていたかを監査した。また、行政監査は、事務事業の執行が効率的に行われていたかを監査した。

その結果、いずれの事務についても、おおむね適正かつ効率的に処理されていた。

総務局

1 監査の期間

平成22年4月1日から平成22年6月3日まで

2 監査の対象

今回の監査は、総務課、情報政策課、防災対策課、契約・検査課の所管する平成21年度に執行した事務事業を対象に実施した。

3 監査の結果

今回の財務(定期)監査は、収入事務、支出事務、契約事務、財産管理等事務、工事関係事務、基金等財務に関する事務の執行が関係法令に準拠し、的確に行われていたかを監査した。また、行政監査は、事務事業の執行が効率的に行われていたかを監査した。

その結果、監査対象事務のうち支出事務、契約事務、財産管理等事務、工事関係事務、基金等については、おおむね適正かつ効率的に処理されていたが、それ以外の事務については、次のような事例があったので、速やかに所要の措置を講じられたい。

財務(定期)監査

公文書複写料の収納事務が正しく履行されていなかったことについて

収納した現金を速やかに指定金融機関等に振り込んでいないことについて、昨年度に指摘したにもかかわらず、同様の事例が数件あった。

また、関係書類への記入漏れや記入誤り、押印漏れ等もあった。

(情報政策課)

現金の収納事務に際しては、職員間の連携を密にして、複数の職員でのチェック体制を整えるなど、適正な事務手続を行うこと。

環 境 市 民 局

1 監査の期間

平成22年4月1日から平成22年6月3日まで

2 監査の対象

今回の監査は、環境政策課、公害対策課、産業廃棄物対策担当、ごみ減量推進課、業務課、クリーンセンターの所管する平成21年度に執行した事務事業を対象に実施した。

3 監査の結果

今回の財務(定期)監査は、収入事務、支出事務、契約事務、財産管理等事務、工事関係事務、基金等財務に関する事務の執行が関係法令に準拠し、的確に行われていたかを監査した。また、行政監査は、事務事業の執行が効率的に行われていたかを監査した。

その結果、監査対象事務のうち収入事務、支出事務、工事関係事務、基金等については、おおむね適正かつ効率的に処理されていたが、それ以外の事務については、次のような事例があったので、速やかに所要の措置を講じられたい。

財務(定期)監査

行事の傷害保険加入において不適切な事務手続を行っていたことについて

市が行事を実施する際、参加者の事故やケガに備えて加入する保険において、主催者や参加人数が加入要件を満たしていない保険に加入し、保険料を支払っていたものがあった。

また、加入契約時において、同一代理店から複数の保険会社の見積りを徴収したり、見積額が同額の場合の抽選のくじを職員が引いたりするなど、事務処理を誤っていた。

(環境政策課)

保険加入に際しては、加入要件を確認し、契約手続を適正に行うこと。

PCB(ポリ塩化ビフェニル)廃棄物の保管場所の提供について

PCB廃棄物の保管場所の提供において、普通財産であるクリーンセンター旧第3工場を団体に一時貸付を行っている事例があるが、貸付の際には公有財産規則等に基づき貸付契約を締結する必要があるにもかかわらず、同規則等に定める要件を満たしていなかった。

また、PCB廃棄物の保管場所を変更した場合、法令に基づき所有者は変更の届出を行う必要があるが、これをさせていなかった。

(産業廃棄物対策担当、クリーンセンター)

普通財産の貸付については、適正な貸付契約を締結すること。

また、法令に基づきPCB所有者に保管場所の変更届を提出させること。

産 業 経 済 局

1 監査の期間

平成22年4月1日から平成22年6月3日まで

2 監査の対象

今回の監査は、公営事業所（経営企画担当、開催運営担当、発売管理担当、施設整備担当）の所管する平成21年度に執行した事務事業を対象に実施した。

3 監査の結果

今回の財務(定期)監査は、収入事務、支出事務、契約事務、財産管理等事務、工事関係事務等財務に関する事務の執行が関係法令に準拠し、的確に行われていたかを監査した。また、行政監査は、事務事業の執行が効率的に行われていたかを監査した。

その結果、監査対象事務のうち収入事務、支出事務、財産管理等事務、工事関係事務等については、おおむね適正かつ効率的に処理されていたが、それ以外の事務については、次のような事例があったので、速やかに所要の措置を講じられたい。

財務(定期)監査

業務委託契約について

ガラス等清掃業務、大時計・審判操作卓等設備保守業務、競走場設備総合管理業務の委託契約において、仕様書の記載誤り、報告書の記載誤りなどがあり、契約事務が適正に行われていなかった。

（施設整備担当）

業務委託に関しては、契約内容を精査して契約書を作成すること。

また、業務報告書の記載内容と契約内容を十分確認し、業務が確実に履行されているか点検すること。

消 防 局

1 監査の期間

平成22年4月1日から平成22年6月3日まで

2 監査の対象

今回の監査は、総務課、予防課、消防防災課、情報指令課、東消防署、北消防署の所管する平成21年度に執行した事務事業を対象に実施した。

3 監査の結果

今回の財務(定期)監査は、収入事務、支出事務、契約事務、財産管理等事務、工事関係事務等財務に関する事務の執行が関係法令に準拠し、的確に行われていたかを監査した。また、行政監査は、事務事業の執行が効率的に行われていたかを監査した。

その結果、いずれの事務についても、おおむね適正かつ効率的に処理されていた。